

（第4回）地域福祉部会資料

「地域共生社会」の実現に向けた区の実践と課題について
②多様な課題を抱えた人への支援等

健康福祉部 福祉推進課

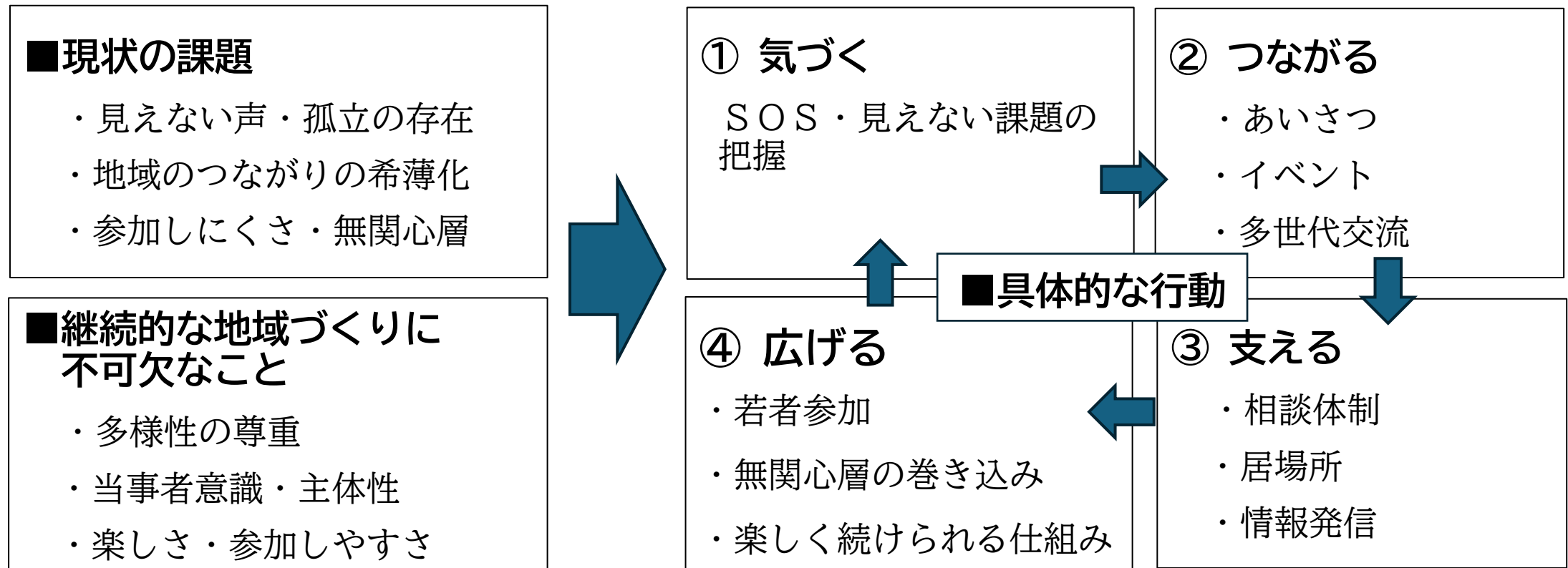
グループディスカッションの振り返り

<第2回グループディスカッション>

【テーマ】

誰もがともに暮らし続ける地域を作るために必要な地域の力を高めるために、
どのように行動し、どうやって、誰もがともに暮らし続けられる社会をつくるのか

【意見の整理から】



わたしたちが目指す地域社会は、

他者を受容できる、助け合いは自然にできる、誰でも居場所がある、自分らしく暮らせる、楽しく関われる地域社会

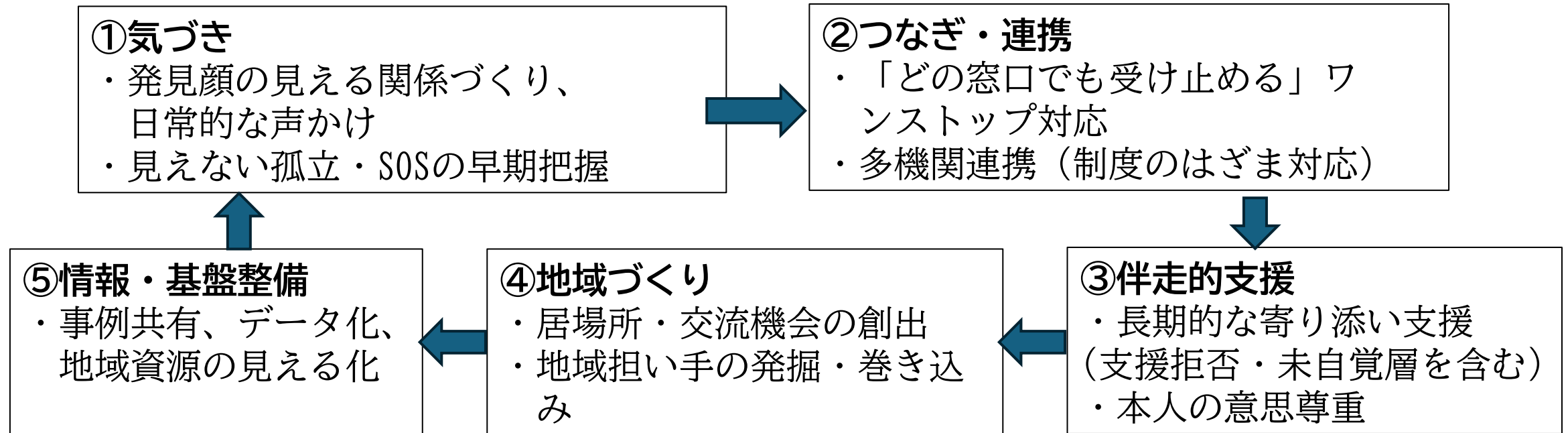
<第3回グループディスカッション>

【テーマ1】

重層的支援体制がうまく機能し、孤立・孤独への気づきや地域へのつながり、また、継続した伴走的支援が可能となる仕組みについて、アウトリーチチーム（区活・すこやか職員の職員）やCSWに求められること

【意見の整理から】

■アウトリーチ・CSWに求められる機能



<第3回グループディスカッション>

【テーマ2】

重層的支援体制の制度（総合窓口等）を
わかりやすく区民や支援者に周知する効果的な手法について

【意見の整理から】

■重層的支援体制の周知手法

①分かりやすさ（入り口）

- ・ キャッチーな名称
- ・ 総合窓口の明確化（どこでも相談可能）

②接点の拡大

- ・ 区報の全戸配布、掲示板、ポスターの活用
- ・ 地域イベント・町会・学校等との連動

③日常化（生活動線への埋め込み）

- ・ 郵便局、地域拠点の活用
- ・ 「ついで利用」「寄り道」「カフェ的機能」

④デジタル活用

- ・ SNS・WEB・地域情報ツール

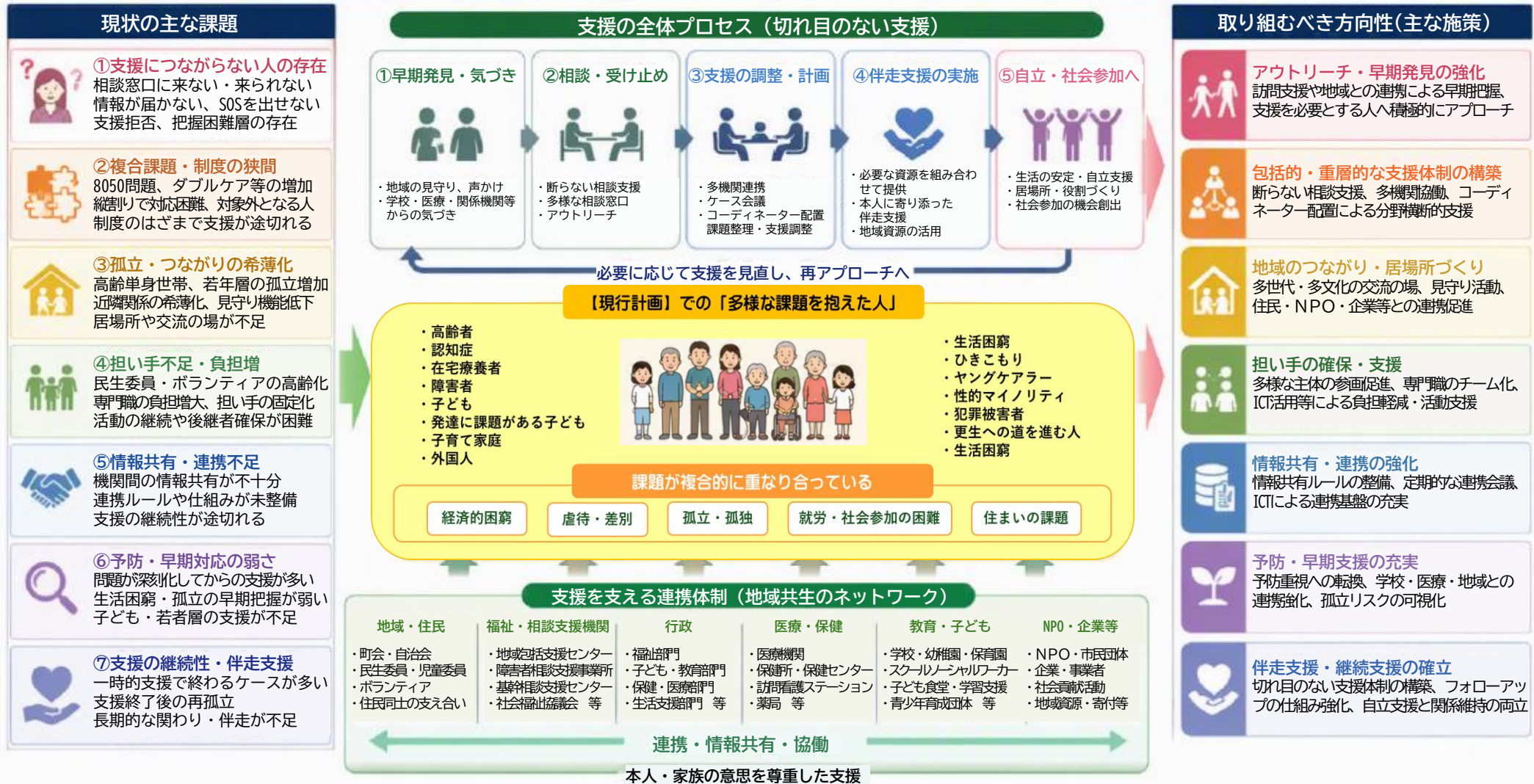
⑤見える化・共感

- ・ 事例共有（相談後の変化）
- ・ ストーリー発信・参加のきっかけづくり

多様な課題を抱えた人への支援等 全体像

～誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けて～

一人ひとりの課題が複合化・複雑化する中で、早期発見から伴走支援、自立・社会参加まで切れ目なく支える体制を、地域全体で構築する



横断的な視点（大切に考える）

- ・本人中心の支援（本人の意思・尊厳を尊重）
- ・多様性の尊重（年齢・性別・国籍・障害の有無等にかかわらず）
- ・権利擁護の推進（虐待防止、成年後見制度の活用等）
- ・エビデンスに基づく支援（データ活用と検証・改善）

目指す姿

誰もが地域で安心して自分らしく暮らし続けられる社会
～支え手・受け手がつながり、ともに支えあう地域共生社会の実現～



ご議論・ご意見いただきたいこと（１）

区は、様々な課題を抱えた人が、必要な福祉サービスや制度につながっていることを目指しています。

下図に、現行の地域福祉計画における「多様な課題を抱えた人」をまとめました。

次期計画策定に向け、委員の専門的知見等に基づき、ご意見をお願いします。

この他に①支援が必要な人や支援を深める必要がある人について

②共通する課題や必要な支援等について

【現行計画】での「多様な課題を抱えた人」

- ・高齢者
- ・認知症
- ・在宅療養者
- ・障害者
- ・子ども
- ・発達に課題がある子ども
- ・子育て家庭
- ・外国人



- ・生活困窮者
- ・ひきこもり
- ・ヤングケアラー
- ・性的マイノリティ
- ・犯罪被害者
- ・更生への道を進む人

複合的に重なり合っている課題

経済的困窮

虐待・差別

孤立・孤独

就労・社会参加の困難

住まいの課題

ご議論・ご意見 いただきたいこと（２）

「多様な課題を抱えた人への支援」を強化していくために、行政や関係機関、地域や企業等が連携していくために、それぞれの立場で何ができると考えますか。

また、その支援の内容について、ご意見やご提案をお願いいたします。

基本目標	施策	主な取組
1 誰もが安心して暮らせるまちづくり	1 人権の尊重と権利擁護の推進	・多様性を認め合う気運の醸成 ・性的マイノリティに関する理解の促進 ・職員向け人権研修の実施 ・相談環境の充実 ・高齢者・障害者の虐待防止施策の充実 ・子どもの虐待防止施策の充実 ・高齢者・障害者の権利に関する施策の充実 ・子どもの権利に関する施策の充実 ・多文化共生社会の推進
	2 暮らしやすい生活環境の整備	・ユニバーサルデザインの普及啓発・施策改善 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり ・避難行動要支援者への避難支援
2 健康でいきいきとした生活の継続	3 健康的な生活習慣の定着	・誰もが身近に運動・スポーツ活動に取り組める環境づくり ・食育の推進 ・介護予防の充実と普及啓発の強化 ・地域における介護予防の取組の推進 ・健康づくり施策の推進 ・学校部活動における地域人材の活用
	4 交流の場や機会の充実	・身近な地域の人と知り合うきっかけづくり ・高齢者の居場所や活動の場づくりの推進 ・認知症地域拠点の推進 ・障害者との交流機会の充実 ・中高生年代向け施設の整備 ・学童クラブ整備・運営 ・子どもたちの安全・安心な居場所づくり ・障害者の就労支援
3 みんなで支えあうまちづくり	5 地域における支えあい活動の推進	・地域活動の推進 ・見守り・支えあいの推進 ・新たな担い手の育成・支援 ・関係機関との連携 ・ヤングケアラー支援
	6 多様な課題を抱えた人への支援	・生活困窮者に対する包括的な自立支援の促進 ・生活困窮家庭への支援 ・再犯防止や更生保護に向けた理解促進と関係機関との連携 ・犯罪被害者等を支える環境づくり ・自殺を未然に防ぐ体制の整備 ・認知症への理解促進と地域での対応力の向上
4 住み慣れた地域での生活の継続	7 包括的な相談支援体制の充実	・地域包括ケア体制の構築の推進 ・活動を推進するための地域拠点の整備 ・妊娠、出産、子育てトータル相談支援の実施 ・子ども、若者に関する相談支援体制の強化 ・障害者の相談支援体制の強化 ・発達に課題がある子どもへの相談支援体制の充実 ・住宅確保要配慮者に対するきめ細やかな相談支援体制の構築 ・認知症の人を支える地域の相談支援体制の充実 ・外国人が安心して暮らすための相談体制の充実 ・犯罪被害者等への相談支援体制の充実
	8 適切な福祉サービス・医療を受けられる環境整備	・第三者評価受審の推進 ・福祉・介護人材の確保、育成、定着の取組の推進 ・介護サービス基盤の整備 ・精神障害者の地域移行の推進と体制整備 ・障害者の地域生活を支える拠点整備 ・在宅療養の支援に向けた体制の強化 ・地域での医療提供の充実 ・感染症対策における関係機関との連携強化